

14.1.22

## 福島県の10市町村 267人早期退職

東京電力福島第一原発の事故で避難指示区域に指定された地域を抱える福島県内10市町村で、2011年3月の事故から昨年未までに職員計267人が早期退職していたことが、全日本自治団体労働組合（自治労）のまとめで分かった。21日に福島市であった自治労と10市町村との意見交換会で報告された。

双葉郡8町村と南相馬市、飯館村を対象に、自治労が聞き取りを行った。市職員が多い南相馬市からは最も多く、180人が早期退職。同原

### 原発事故後 避難や負担増

発近くの双葉町が19人、大熊町18人、楢葉町16人と続いた。

昨年4～12月にも21人が早期退職した南相馬市の総務課によると、早期退職者のほとんどは市立病院などの看護師の女性。家族と一緒に市外へ避難する際に辞めたという。

また事故以降、精神疾患で休職した職員は10市町村で少なくとも22人という。

自治労本部の川本淳書記長は「復興業務の負担が職員の疲弊に拍車をかけている」と指摘する。（藤原慎一）